

Indonesia Weekly

2019年9月17日



(対象期間：2019/9/9～2019/9/13)

【株式市場】 ジャカルタ総合指数の推移 (2016年1月4日～2019年9月13日)



【株式市場】

米中貿易摩擦の緩和期待や欧州中央銀行（ECB）が利下げと新たな緩和策を打ち出したことで、世界的にリスク選好姿勢が強まり、インドネシア株式市場は上昇しました。インドネシア政府はジャカルタスラバヤ間の高速度鉄道プロジェクトについて、近日中に日本との覚書に署名することを発表しました。推定投資額は60兆ルピア、2020年着工を目指すとされています。

2019/9/6	2019/9/13	変化率
6,308.95	6,334.84	+0.41%

【債券市場】 インドネシア本国通貨建て10年国債利回りの推移 (2016年1月1日～2019年9月13日)



【債券市場】

インドネシア10年国債利回りは低下（価格は上昇）しました。米中貿易摩擦の緩和期待を背景に世界的にリスクオンとなったことから、インドネシア債券市場に資金流入が見られました。10日に行われた国債入札では、久しぶりに投資家の強い需要が見られました。入札後は狭いレンジでの推移となりましたが、ECBの利下げなどを受けて、週末にかけて外国人投資家からの資金流入が加速し、利回りはさらに低下しました。

2019/9/6	2019/9/13	変化幅
7.324	7.192	-0.132

【為替市場】 インドネシアルピアの対円レートの推移 (2016年1月1日～2019年9月13日)



【為替市場】

ルピアは対米ドル、対円ともに上昇しました。世界的なリスクセンチメントの回復を背景に、ルピアは堅調となりました。週末にかけて、債券市場に外国人投資家からの資金流入が加速したことから、ルピアは対米ドルで節目とみられていた14,000を下回りました。

2019/9/6	2019/9/13	変化率
0.7590	0.7737	+1.94%

出所：グラフおよび表はBloomberg L.P.のデータに基づきイーストスプリング・インベストメンツ作成。

＜当資料に関してご留意いただきたい事項＞ ※当資料は、イーストスプリング・インベストメンツ株式会社が、情報提供を目的として作成した資料であり、金融商品取引法に基づく開示資料ではありません。また、特定の金融商品の勧誘・販売等を目的とした販売用資料ではありません。※当資料は、信頼できると判断された情報等をもとに作成していますが、必ずしもその正確性、完全性を保証するものではありません。※当資料の内容は作成日時時点のものであり、当社の見解および予想に基づく将来の見通しが含まれることがありますが、将来予告なく変更されることがあります。また、将来の市場環境の変動等を保証するものではありません。※当資料で使用しているグラフ、パフォーマンス等は参考データをご提供する目的で作成したものです。数値等の内容は過去の実績や将来の予測を示したものであり、将来の運用成果を保証するものではありません。※当資料では、個別企業に言及することがありますが、当該企業の株式について組入の保証や売買の推奨をするものではありません。※当社による事前の書面による同意無く、本資料の全部またはその一部を複製・転用並びに配布することはご遠慮ください。

イーストスプリング・インベストメンツ株式会社

金融商品取引業者 関東財務局長（金商）第379号／加入協会 一般社団法人投資信託協会、一般社団法人日本投資顧問業協会

英国ブルーデンシャルは、イーストスプリング・インベストメンツ株式会社の最終親会社です。最終親会社およびそのグループ会社は主に米国で事業を展開しているブルデンシャル・ファイナンシャル社とは関係がありません。